ノンデリート

多田龍介

◆目次

寝技 6
個の力 8
マイノリティ 10
サラリーマン 12
ノンデリート 14
何でもないさ 16
見てるだけ 18

だまらっしゃい 20
オシゴト 22
見ていると 24
いなせ 26
復刻強兵 28
いろいろ 30
異界から 32
あとがき 35



寝技

本邦の暗部は深い
過ちを認めることなしに
前へは進めない

あんたが悪いんだ
いや、あんたが悪いんだ
いやいや、お前が悪いんだ
ぼく？

ナパーム弾で焼きますと
多く無垢なるものが巻き添えに
なりますからね

まぁ、責任をといっても
難しい話だから

もっとこう
適当に、適当にね

そんな曖昧なことじゃ困るんだよ
そこここで訴訟
筋が通ってるんならいいんですよ？
通ってないんだ～

私の間違いだったと
八割腑に落ちたら
それでもいつものナンセンスに
帰っていこうじゃないか

個の力

できるできないの評価から
己を切り離す

世間の雑音から
遠く離れて暮らせたら

二人でアフリカで暮らそう
暮らせるわけもなく

人目も気にせずコツコツと
できた成果は

丸ごと俺のものだっ！
君らも勝てたらそうだよ？

うん

マイノリティ

世は絶望！
といっても絶望に染まる風でもない
気楽な生活ぶり

しかし
世は絶望！
浮かれた者がいると
てやんでぇと思い
塩をかけたくなる

やめてください
縮んでるじゃないですか

浮かれた男の影に
泣く女

昭和の夫婦
崩れたり

女たちはもう黙らない
女じゃなかった
うぇっぷ

サラリーマン

統合失調症をヘタ打ったとは思わない
仲間が多すぎるのだ
ヘタレをまさか軒並み排除
というわけにはいくまい

人を憎む人は暇人なんだって
犯罪被害者に言ってこい
さもありなんな場合あり

パンはなしサーカスだけで痩せ細り
中毒者のさがだよ

お楽しみのところ悪いのですが
上半期の経常赤字……

無粋だな、君は
すみません、引っ込めます

うちがすごくないってことは
俺たちがちゃ～んと、わかってるぜ

ノンデリート

あ
そう
という
あなたの
気のない声
いいんですよ
僕の労は無尽蔵
コメを消すものは
いずれ人も消すのだ
なんてことは言わない
本を焼いたら人も焼くと
本、捨てる時どうするのと
裁断してるんじゃないかな？

僕だって有害図書を燃やし
たくなることはあります
うら若き青少年を騙す
有害な本というのは
あるが、しかしだ
僕が読んできた
本たちだ、え
そんな本を
ばかりだ
春画に
お礼
を

何でもないさ

トレンドで入院してはいけません
穴が開く、果報に気づく、僕という
そううまいことにはとても行きません
精神科、思ってたのと違うこれ
怖いこと、後の祭りぞ、たっけて～と



見てるだけ

Don't look back in anger（怒りを込めて振り返らないで）という歌がある
これの前、遡ることうん十年
Look back in anger（怒りを込めて振り返れ）という戯曲だか何かがあった

反対じゃないですか
そう、というのは言葉というのは
裏返せるからなんだ

生きるという映画があったら
生きないという映画ができる
ややこしいな、裏返すなよと

冒頭のはAngry young men（怒れる若者たち）というムーブにもなった
イギリスで

アンチテーゼを出せるような
活きのいい若い人たちがいる

振り回されてもついていけないお年寄りもいる
僕ももう動きたくない

歳を食えばおとなしくなるという命題についてはどうだろうか
政治家を見る、当たらないようだった

まぁ、それも僕あったればこそ
もののけ姫のしし神様のように

ぱぁ～と草木が伸びていき
老骨の血潮をも熱く滾(たぎ)らせたのだ

だまらっしゃい

百人いたら一人は
殴らないとわからない子がいると
書いてる人がいた

何、そのおおざっぱな数字
一人でいいんですか
ジャンクは徒党を組んで来ますよ

そも殴ってわかることとは
何なんですか
殴り方を覚えるだけなのに

しかし百対一というこのたとえは
どちらかといえば
いじめの場合だ

一人のスケープゴートを用意し
幸福な百人を作るというのだ
そんな幸福は認められません

そしてもう
殴る以上のことをしている
速やかに病院送りなのだから

オシゴト

気安い仕事には軽いお賃金が
気重い仕事には重いお賃金が来るのだ

そして僕、パソコンカタカタしてるだけ
気安かった

いや待てと
気重い仕事などそう長くは続かない

皆、得意なことを気安くしているのではないか

パソコンカタカタが気重い人もいるのだ、きっと

０一個多く打ったらエライことだが
そういう気重さだ

自信を持って行こう
無給だった

見ていると

おっさんが可愛いを作り
おばさんがかっこいいを作る

これ、自然の摂理なのよねぇ
キモいだろうがと

しかし世の支配者は
おっさんとおばさんです



いなせ

君、それは嫌われるよ？
一生懸命やってる人を前に

嫌われて悲しいって
言ってたじゃないか

僕？
僕は嫌われてもいいんだよ

相手の嫌がることをする
これがサッカーの定石

サッカーじゃなかったか
作家なら喜ばせなきゃな

あなたの未来に
ご奉仕するにゃん

ちょっと気持ち悪いですね
そうだな、もっとこう

己の充実のためにだ
よそはほっとく感じで

復刻強兵

何が正しいかなんて
本当はみんな
わかってるんじゃないかなぁ
わかってないだろうが
右も左も、わかってないだろうが

捕まれば悪かったと思う
悪くなくても捕まった時代が
あった
だから捕まってないっちゅうん
イレギュラーな話されちゃ困るんだよ

スパイ防止法の
酸っぱい思い出
いっぱい
なんてことに
ならなければいいが

いろいろ

童貞の性欲はすごい
卒業すれば
なんだかつまらないことに
こだわっていた気がして
漢になる

なってないだろうが
色ボケ爺さん多いだろうがと
言われるかもしれない
健忘症なんじゃないか？
幻想の力なのだ

一つ、言いたいのは
欲しいと思うことは
悪いことじゃないんだと
開けゴマ、もといマタ
いや、オープンユアハート

異界から

雨が降っている
この辺は水害がよくある
水が上がってこないか
いつも心配している
昔、一面田んぼだったのだ

この辺は
昔は何もなかったんですよ
と、美容師の言う
それが
アウターゾーンなのだ

シンエイ中学がある
エイシン中学がある
都々逸養成地域
こんなだったか？
何もなかったんですよ、えっ



あとがき

この小冊子は二〇二六年五月三十日から六月二十九日にかけて書かれた詩、十四編をまとめて作った。かなりのハイペースだったようだ。年間かけてこの調子だから、量はかさむばかりだ。

先日、以前政治家が発言した「ＵＳＢは穴に入れるらしいですけれども、わからないので、官僚に聞いてください」という話をネットで見て、面白かったのですが、本に力を入れようと思った。ネットに書き飛ばしただけでは、たぶんどこにも残らない。毎回印刷所にまで出していると切りがないので、データの精度を上げて、お手製で作りたい人は作れるようにしておこう。

そういうわけで少し表紙に力を入れて、プリントすれば感じのいいコピー誌ができあがる仕様です。

それでは、読んでくださってありがとう。また。

二〇二六年十月十一日　　多田龍介

ノンデリート

令和八年十月十一日　初版発行

著　者　多田　龍介
発行者　多田　龍介
発行所　明水工房

©Ryusuke TADA 2026